



平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 株式会社ナカニシ 上場取引所 大
 コード番号 7716 URL <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)中西 英一 (TEL) 0289 (64) 3380
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)駒田 裕一
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績 (平成23年1月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	16,395	△0.8	5,345	△9.2	5,149	△7.9	3,462	△4.0
22年12月期第3四半期	16,530	14.3	5,886	34.8	5,589	13.3	3,607	12.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	573.95	573.77
22年12月期第3四半期	587.99	587.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	36,753	33,784	91.6	5,619.54
22年12月期	34,951	31,677	90.4	5,213.95

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 33,663百万円 22年12月期 31,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0 00	—	80 00	80 00
23年12月期	—	0 00	—		
23年12月期(予想)				100 00	100 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想 (平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,485	1.2	6,970	△8.3	7,107	△2.7	4,778	1.9	780.44

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期3Q	6,283,960株	22年12月期	6,283,960株
23年12月期3Q	293,479株	22年12月期	224,579株
23年12月期3Q	6,033,512株	22年12月期3Q	6,135,332株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 02
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 02
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 02
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 03
2. その他の情報	P. 04
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 04
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 04
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 04
3. 四半期連結財務諸表	P. 05
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 05
(2) 四半期連結損益計算書	P. 07
【第3四半期連結累計期間】	P. 07
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 08
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、復興需要や海外市場の回復により景気の持ち直しが見られたものの、為替レートでの急激な円高の進行や欧州を中心とする財政問題や金融不安及び新興国のインフレ抑制策による世界経済の減速懸念など景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループは、売上の輸出割合が高く、昨今の長引く円の高止まりは、グローバル競争においてマイナスの影響を与えつつあります。特に、成長牽引役であった欧州市場においては、財政問題による景気悪化懸念により販売が減速いたしました。一方で、国内におきましては、新製品効果もあり好調に推移いたしました。

このような環境のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高は、16,395,334千円（前年同期比0.8%減）、営業利益は、5,345,845千円（前年同期比9.2%減）、経常利益は、5,149,602千円（前年同期比7.9%減）、四半期純利益は、3,462,954千円（前年同期比4.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（歯科製品関連事業）

成長牽引役であった欧州市場におきましては、財政問題や金融不安の中、販売は横ばいに推移しましたが、円高の進行に伴い円換算額は目減りしております。この結果、売上高は、14,076,012千円、セグメント利益は、6,538,643千円となりました。

（工業製品関連事業）

国内外の設備投資の回復により、当社グループにおきましては、携帯情報関連機器の部品加工用として機械装着用スピンドルの売上が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は、1,801,401千円、セグメント利益は、528,822千円となりました。

（その他事業）

修理等サービスは、堅調に推移いたしました。売上高は、517,921千円、セグメント利益は、163,916千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,522,554千円増加し、25,638,080千円となりました。これは主として、現金及び預金が376,747千円、金銭の信託が2,459,074千円増加した一方、有価証券が486,768千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ720,654千円減少し、11,114,935千円となりました。これは主として、有形固定資産及び無形固定資産の償却に加えて、投資有価証券が295,939千円、長期定期預金が500,000千円、保険積立金が397,644千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ251,103千円減少し、2,585,455千円となりました。これは主として、買掛金が211,533千円増加する一方、未払法人税等が269,661千円、その他の流動負債が282,859千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ53,961千円減少し、383,236千円となりました。これは主として、退職給付引当金が46,480千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2,106,964千円増加し、33,784,324千円となりました。これは主として、四半期純利益による利益剰余金が2,978,204千円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ93,813千円増加し、7,726,616千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、3,489,263千円(前年同四半期は2,732,364千円の獲得)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益5,542,946千円の計上により資金が増加した一方で、法人税等の支払額2,356,528千円により資金を使用したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,080,104千円(前年同四半期は375,259千円の獲得)となりました。これは主として、定期預金の払戻等により資金を獲得する一方、金銭の信託の取得及び有形固定資産の取得等に資金を使用したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,058,400千円(前年同四半期は802,978千円の使用)となりました。これは主として、自己株式の取得566,765千円及び配当金の支払484,326千円を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成23年2月14日に公表いたしました平成23年12月期の業績予想に変更はありませんが、業績の影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,310,781	11,934,033
受取手形及び売掛金	3,101,409	3,179,444
有価証券	1,103,989	1,590,757
金銭の信託	2,459,074	—
商品及び製品	2,152,102	1,892,930
仕掛品	1,841,262	2,078,968
原材料及び貯蔵品	1,731,382	1,588,519
繰延税金資産	510,440	467,426
その他	450,774	399,679
貸倒引当金	△23,136	△16,233
流動資産合計	25,638,080	23,115,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,302,910	3,900,935
機械装置及び運搬具	2,207,077	1,902,706
工具、器具及び備品	2,018,810	1,871,202
土地	1,225,141	1,014,050
建設仮勘定	193,399	453,247
減価償却累計額	△5,328,333	△4,934,477
有形固定資産合計	4,619,005	4,207,666
無形固定資産		
ソフトウェア	346,935	402,086
ソフトウェア仮勘定	33,621	21,504
のれん	68,860	96,795
その他	10,135	15,155
無形固定資産合計	459,552	535,542
投資その他の資産		
投資有価証券	3,210,824	3,506,764
関係会社株式	377,814	381,509
長期定期預金	500,000	1,000,000
保険積立金	1,289,061	1,686,706
繰延税金資産	420,309	331,218
その他	240,461	188,277
貸倒引当金	△2,094	△2,094
投資その他の資産合計	6,036,377	7,092,381
固定資産合計	11,114,935	11,835,589
資産合計	36,753,016	34,951,116

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	694,141	482,607
短期借入金	109,222	109,339
未払法人税等	841,867	1,111,528
賞与引当金	90,000	—
その他	850,223	1,133,082
流動負債合計	2,585,455	2,836,558
固定負債		
長期借入金	6,309	13,735
繰延税金負債	689	733
退職給付引当金	235,268	281,749
その他	140,969	140,979
固定負債合計	383,236	437,198
負債合計	2,968,691	3,273,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,163,548	1,163,548
利益剰余金	35,243,521	32,265,317
自己株式	△2,452,972	△1,886,207
株主資本合計	34,822,045	32,410,606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△79,153	45,718
為替換算調整勘定	△1,079,175	△863,020
評価・換算差額等合計	△1,158,329	△817,301
新株予約権	19,333	9,140
少数株主持分	101,274	74,914
純資産合計	33,784,324	31,677,359
負債純資産合計	36,753,016	34,951,116

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,530,672	16,395,334
売上原価	6,354,348	6,536,385
売上総利益	10,176,323	9,858,948
販売費及び一般管理費	4,290,028	4,513,103
営業利益	5,886,295	5,345,845
営業外収益		
受取利息	90,559	52,841
受取配当金	11,466	8,926
生命保険解約返戻金	13,050	1,757
雑収入	24,567	41,832
営業外収益合計	139,643	105,357
営業外費用		
支払利息	5,440	1,503
有価証券売却損	8,512	—
為替差損	411,229	251,037
雑損失	11,502	49,059
営業外費用合計	436,685	301,600
経常利益	5,589,252	5,149,602
特別利益		
固定資産売却益	—	1,079
投資有価証券売却益	—	5,650
役員退職慰労引当金戻入額	176,000	—
貸倒引当金戻入額	201	2,272
生命保険解約差益	167,875	436,580
特別利益合計	344,077	445,582
特別損失		
固定資産除却損	28	3,795
投資有価証券評価損	8,060	43,212
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,230
特別損失合計	8,088	52,238
税金等調整前四半期純利益	5,925,241	5,542,946
法人税、住民税及び事業税	2,271,833	2,091,056
法人税等調整額	16,802	△48,501
法人税等合計	2,288,635	2,042,555
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,500,390
少数株主利益	29,101	37,436
四半期純利益	3,607,504	3,462,954

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,925,241	5,542,946
減価償却費	433,098	530,681
のれん償却額	28,300	27,935
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,053	8,306
賞与引当金の増減額(△は減少)	88,000	90,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△34,402	△46,480
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△316,800	—
受取利息及び受取配当金	△102,025	△61,767
支払利息	5,440	1,503
保険解約損益(△は益)	△180,925	△438,337
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,079
固定資産除却損	—	3,795
有価証券売却損益(△は益)	8,512	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5,650
投資有価証券評価損益(△は益)	8,060	43,212
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,230
売上債権の増減額(△は増加)	△435,752	34,704
たな卸資産の増減額(△は増加)	△559,453	△210,443
仕入債務の増減額(△は減少)	338,318	245,793
為替差損益(△は益)	282,121	208,138
その他	△117,487	△193,051
小計	5,375,301	5,785,437
利息及び配当金の受取額	87,956	61,924
利息の支払額	△5,509	△1,570
法人税等の支払額	△2,725,383	△2,356,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,732,364	3,489,263
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	369,120	262,370
金銭の信託の取得による支出	—	△2,500,000
有形固定資産の取得による支出	△784,411	△994,967
有形固定資産の売却による収入	28	1,543
無形固定資産の取得による支出	△92,199	△59,425
投資有価証券の取得による支出	△390,000	△807,300
投資有価証券の売却による収入	297,427	341,050
連結子会社株式の取得による支出	△34,987	—
非連結子会社株式の取得による支出	△268,210	—
定期預金の預入による支出	△8,769,580	△11,308,392
定期預金の払戻による収入	9,900,000	12,227,631
保険積立金の積立による支出	△220,345	△19,065
保険積立金の解約による収入	365,068	855,048
その他	3,350	△78,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	375,259	△2,080,104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△11,085	△7,309
自己株式の取得による支出	△282,465	△566,765
配当金の支払額	△491,296	△484,326
少数株主への払戻による支出	△15,673	—
少数株主への配当金の支払額	△2,456	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△802,978	△1,058,400

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△474,840	△256,945
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,829,804	93,813
現金及び現金同等物の期首残高	5,796,420	7,632,803
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,626,224	7,726,616

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	歯科製品 関連事業 (千円)	工業製品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,337,804	1,708,887	483,980	16,530,672	—	16,530,672
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,337,804	1,708,887	483,980	16,530,672	—	16,530,672
営業利益	6,907,305	543,809	130,663	7,581,778	(1,695,483)	5,886,295

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1) 歯科製品関連事業……治療用ハンドピース、技工用マイクロモーター&ハンドピース、外科用ハンドピース、部品その他
(2) 工業製品関連事業……手作業用グラインダー、機械装着用モーター&スピンドル、部品、商品(先端工具)
(3) その他事業……修理

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	日本 (千円)	北アメリカ (千円)	ヨーロッパ (千円)	アジア (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,396,165	840,468	3,440,949	339,125	513,964	16,530,672	—	16,530,672
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,789,772	8,469	55,014	—	—	2,853,256	(2,853,256)	—
計	14,185,937	848,937	3,495,963	339,125	513,964	19,383,928	(2,853,256)	16,530,672
営業利益	4,905,028	164,333	756,189	8,845	87,303	5,921,701	(35,406)	5,886,295

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北アメリカ …… アメリカ

ヨーロッパ …… ドイツ、フランス、イギリス、スペイン

アジア …… 中国

その他 …… オーストラリア

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	北アメリカ	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	3,254,475	2,509,848	4,563,127	2,858,721	13,186,172
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	16,530,672
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.7	15.2	27.6	17.3	79.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ …… アメリカ、カナダ

(2) アジア …… 中国、韓国、インド、香港、台湾

(3) ヨーロッパ …… ドイツ、フランス、イタリア、スイス、ポーランド、イギリス、スペイン

(4) その他の地域 …… オーストラリア、イラン、南アフリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の種類、販売市場等の類似性を基に「歯科製品関連事業」、「工業製品関連事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要製品

報告セグメント	主要製品
歯科製品関連事業	治療用ハンドピース、技工用マイクロモーター&ハンドピース、口腔外科用ハンドピース、医療用マイクロモーター&ハンドピース、部品その他
工業製品関連事業	手作業用グラインダー、機械装着用モーター&スピンドル、部品、商品(先端工具)
その他事業	修理

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,076,012	1,801,401	517,921	16,395,334	—	16,395,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,076,012	1,801,401	517,921	16,395,334	—	16,395,334
セグメント利益	6,538,643	528,822	163,916	7,231,382	(1,885,536)	5,345,845

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

(追加情報)

第1 四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。